

発行責任 六会地区自治会連合会
連絡先 六会市民センター ☎81-6677

新潟県柏崎市北条地区と交流・親睦を図る！

六会地区では、地域団体の活性化を図るために他地域との交流関係が必要であること、また、地震等の災害時には遠距離地域との相互の支援関係が重要であるとの認識から、新潟県柏崎市北条地区との交流を進め、2012年(平成24年)2月5日に「地域間交流のための覚書」を締結しました。北条地区とは毎年行き来をしており、昨年6月28日には中越地震・中越沖地震の2度にわたり被災された北条地区の総合防災訓練に参加しました。

今年は北条地区コミュニティ振興協議会から、40周年記念事業の一環「地区内歴史探訪ウォーキング・3大いにしえロードを巡る」に参加され地区住民との親睦を深めていただきたいというお誘いがあり、検討した結果、11月7日・8日に北条地区との訪問交流会を開催することを決め、自治連関係団体・自治会・町内会・郷土づくり推進会議などの皆さん総勢31人の参加を得て実施しました。

北条交流記<1日目>

11月7日、朝7時に六会市民センターを出発し一路北条地区へ。年をとってもバス旅行は何となく心が浮き車内は「ワイワイ・ガヤガヤ」。

まず初めについたのはコンクリート造りの大きな建物、何とこれが銘酒「久保田」の「朝日酒造」。イメージが近代的で一同びっくり！



その後昼食にふのりをつなぎとした腰のある日本そばを食べ、岩塚製菓直売店でせんべいのバク買いをし、もみじ園へ。この地はもみじの里として有名で小山を利用した園は紅葉、黄葉がとても綺麗でした。

夜は懇親会で色々なもてなしを受け、再会した面々と楽しく大いに歓談し、お互いの発展を祝してバンザイ三唱して別れました。

<2日目> (次ページへつづく)

2日目は雨の朝でしたが、北条の歴史探訪ウォーキング参加のため9時に北条小学校へ集合、9時10分から出発式を行い、写真(右)にある3つの「いにしえロード」に出発しました。その1つをレポートします。



「長鳥いにしえロード」コース

北条小3年生5人と先生、住民15人、六会10人が参加。弘法大師霊塩水の井戸の見学。児童の説明の後、語り部の民話語りにも引き込まれました。次は、樹齢千年以上の大杉を見学(右)。一樹で森をなす姿に圧倒されました。

後半はこのコースのサブタイトル「勝海舟のルーツを訪ねて」通り、勝海舟の曾祖父である米山検校(山上銀一)



の生家と「米山検校御礼塔」を見学。米山検校は凶作の折、蔵米を買って3年間住民を救済しました。住民は感謝して「米山検校御礼塔」を建立。児童の説明(左)はとて分かりやすく、語り部の説明もあって当時の長鳥にタイムスリップできました。最後は、住民手作りの漬物と熱々のイノシシ汁をふうふうしながらいただき、交流を深めることができました。



宮城県亘理郡山元町から感謝状が届く！

2011年3月11日の東日本大震災の時に、自治連役員・団体長で話し合い、六会地区では顔の見える関係で支援しようという事になりました。そして宮城県社会福祉協議会より紹介されたのが山元町でした。震源地の真南にある小さな町なので支援してほしいとの事でした。

六会地区の皆さんからたくさんの支援金が集まりました。公的な助成金では支援してもらえない**子ども達の自転車、自治会のテント、マイク、スピーカー**を提供することになりました。調達は山元町がおつき合いのある事業者さんのルートで発注して頂きました。山元町の方々には「そばでそっと見守ってくださっている様でありがたかった」と言われ、六会のふるさとまつりにわざわざお礼に来てくださいました。

そんな交流の中、今年になって山元町から連絡をいただきました。「震災後4年がたち、復興はまだですがお世話になった多くの皆様に一度区切りをつけ、お礼を申し上げたい」との事でした。

式典には参加する事はできませんでしたが、感謝状を贈っていただきました。

六会地区の皆様にご報告と共にお礼を申し上げます。

